

『真実は、ゴミの中に輝く』 ～ じっくりと掘り当てる ～

2023 年 5 月 2 日も、『ひばりヶ丘駅→池袋駅→御茶ノ水駅→順天堂大学→御茶ノ水駅→中野駅→新渡戸稲造記念センター →中野駅→新宿駅→池袋駅→東久留米駅の電車の旅』であった。東久留米の『International School(CAJ)』の『キャンパスで サッカーで遊ぶ生徒の姿』、『落合川に浮かぶ鴨』、『水流に逆らいて泳ぐ鯉』見ながら散策した。大いに心が慰められた。

5月2日『「今日」という日の花を摘む』（実業之日本社発行 2016年）の編集を協力して頂いた吉川健一氏から【『今日の富士山』2点をお送りします】と写真が送られて来た（画像）。そして『心に咲く花会』代表・編集担当の森尚子氏（目白がん哲学外来カフェ 代表・担当者）からは【また、みんなで富士山観にいきたいですね。】と東京タワーの写真が送られて来た（画像）。大いに感服した。

筆者は、昨年(2022 年)の 5 月の連休【『憲法記念日』(5 月 3 日)、『みどりの日』(5 月 4 日)、『こどもの日』(5 月 5 日)】は、『ゴミの山の自宅の整理整頓』の日々であった。『みどりの日』に南原繁(1889-1974)のお孫様から『祖父の部屋にも たくさんの本が至る所に平積みされていて 足の踏み場もなかったような気がします。』との心温まる励ましのメールを頂いたのが鮮明に思い出された。大いに感激したものである。まさに、『真実は、ゴミの中に輝く』である。『現代のような変化の時代、人の目が気になる時代』、一人の人間として『目的』&『ビジョン』をじっくりと掘り当てることは、実際は容易なことではない。『この世と調子を合わせてはいけません』（ローマ書 12 章 2 節）が蘇る日々である。

今年(2023 年)の 5 月 4 日は『東京国際朝祷会第 3167 回』（御茶ノ水のレストランデリフランスに於いて）で、奨励『あなたの 隣人を あなた自身のように愛せよ』（ルカの福音書 10 章 27 節）を依頼された。まさに、『心を尽くし、思いを尽くし、力を尽くし、知性を尽くして、—— 愛せよ！』の復習である。

International School も休日である『こどもの日』は、『成人の原点回帰の機会』ともなるろう！

